

## 第2回安全講習会の実施



施工現場合同安全点検



北釜工区



深沼工区

平成24年11月21日（水）、仙台南部海岸の堤防復旧工事の施工業者35社の現場代理人と工事担当職員ら総勢54名で、安全管理の徹底・工事事故の未然の防止を目的とした安全講習会を実施しました。関上北釜工区南部第2復旧工事と深沼南工区北部第2復旧工事の工事現場を点検し、参考になった点・改善すべき点等を活発に討議検討しました。今回の講習会の成果を各自の現場での施工・安全管理に役立て、無事故で工事を終了できるよう、関係者一同工事の推進に努めて参ります。

### ▼実際のチェックリスト



点検結果をチェックリストに記入



パトロール結果報告と討議



安全に関する講話を受講の様子



深沼北工区の工事現場



別名「大豊タワー」に登って工事現場を見学



現地での事業説明

平成24年11月20日  
郡山中学校と東仙台中学校の2年生計6名、  
11月27日には高砂中学校から4名が職場体験に訪れました。

11/27

—高砂中学校—

## 職場体験

—郡山中学校  
東仙台中学校—

11/20



パネルを見ながらの事業説明



いざ工事現場へ!!



関上北釜工区の工事現場





# 現場からの声 vol. 2



写真-1

私は、震災後の4月21日に、国土交通省発注の緊急復旧工事の現状把握のために、自衛隊により啓開された市道を経て、蒲崎地区担当他4業者・監督職員と共に、被災した海岸堤防に立ちました。

海岸堤防を構成する巨大なコンクリート構造物が飛散・散乱した海岸、赤く枯れた海岸の松林（保安林）等、その被災した姿に息を呑み、全員の携帯の緊急地震警報の鳴る中、かつて経験のない恐怖を感じたことは今でも良く覚えています。（写真-1）

工事は官民誰も経験のない大震災による緊急復旧工事。工事実施にあたっては、想像力と創造力を必要とする作業となり、休みもなかなか取れない状況でしたが、「復旧に寄与しているんだ！」という自負心により、竣工まで肉体的にも精神的にもなんとか耐えられ、無事故で完成を迎えることができました。



写真-2

## 「子供達の未来と希望のために」

二ノ倉工区北部第3復旧工事 現場代理人 伸和興業(株) 渡部和彦



写真-3

本復旧工事（写真-2、3）、に携わっている現在、直接的な大きな被害を受けていないものにとっては、時間の経過とともに震災直後の記憶は、希薄になりがちです。

そんな折り、近隣の小学校の校長先生とお話する機会があり、被災した子供達の心の傷はまだまだ癒えてないことをお聞きしました。

現在の現場状況は、労務・材料・車両関係の費用の高騰、供給不足等、非常に厳しい現場状況ではありますが、一日も早く我々が工事を完成させることにより子供達が未来に明るい希望を抱くための一助になれば・・・という気持ちを胸に、無事故で南部海岸復興元年を迎えるべく鋭意努力してまいります。

## 第2回 山元町 ふれあい産業祭

堤防復旧工事のパネル展示

平成24年11月23日（金）山元町役場で、ふれあい産業祭が開催されました。

全国からご当地グルメの出店や吹奏楽部の演奏、子供達のダンス等の発表もあり、大盛況でした。

国土交通省も協賛として、堤防復旧工事のパネルを展示し、多くの方に現在の復旧状況を説明し、事業広報を行いました。

